



ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室

第28号

2019. 2. 20発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <http://hachisoku.org>  hachisoku@gmail.com  042-686-0820

郵便振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室



2019年1月12日 OurPlanetTV 白石草さん講演

「福島の子どもの甲状腺がんについて」概要

OurPlanetTVは2001年の9.11後にできた非営利のインターネット上の独立メディアで、3.11前から様々なテーマを取り上げている。福島原発事故のいろいろな問題の中でも、被曝、健康の問題はタブー視されていて、大手のメディアもやりにくくなっている中で取材を続けている。

今、甲状腺がんの多発について検査過剰だと言われている。健康被害は起きない、そんなに被曝していないと印象づけようと、国、県が一体となって多量の情報でアピールしている。その情報戦の中で、患者さんたちが置き去りになり、数だけが一人歩きし、ごまかしの情報があふれているという状態にある。

【県民健康調査】

福島県では2011年から200万人を対象に世界最大規模の健康調査が行われている。外部被曝線量を推計する行動調査が主だが、ほかにいくつかの詳細な検査を行っているうちの 하나가甲状腺検査。事故当時18歳以下だった38万人に甲状腺のエコー検査をするというもので、規模としては世界最大。県の最新の公式発表では、細胞診の段階で悪性と言われた人が207名、その内すでに手術を受けた人が177名。そして集計外の11名（データに出てこない人がいることが去年わかり大問題になった）と、実は他の病院でも手術がなされている可能性があるという。つまり、甲状腺がんの人が200人どころか、実は300人近く存在する可能性があるという不透明な状態に陥っている。

【福島とチェルノブイリの甲状腺がんの検出率の比較】

甲状腺がんの検出率を比較すると、ゴメリ以外は福島の方が高い。自著「チェルノブイリ28年目の子どもたち」の取材でコロステンを取材して、子どもたちがいろいろな病気になっていることをリポートしたが、そこと比べても高い。2015年に岡山大学の津田敏秀教授が福島の子どもの甲状腺がんの比率が高いという論文を発表すると、日本中の原子力を推進する側の人たちに否定された。そして、子どもたちに不安を与えるこのような検査は人権問題だ、今すぐやめるべきだという意見が強くなっている。さらに総数を把握しにくくしている。この事故は初期の段階からきちんとした調査をせず、甲状腺がんの多発と事故の因果関係が立証できないようにされている。

その一方で、普通の市民、学校の先生や保護者などのほとんどが、子どものために検査を続けた方がよいというまともな感覚をもっている。マスコミや医療関係者が検査をやめた方がいいと主張している。「検査をしすぎて見つけなくていいものを見つけた」などと、おかしいことが真面目に話されている。

【腫瘍の急成長と重症化】

私たちは、穿刺細胞診により悪性と診断されたとか、手術を受けたというところまでは知らされているが、その後何が起きているかを知らない。福島でもチェルノブイリでも一番多いのは乳頭がんというタイプ。福島県立医大の鈴木真一先生がほぼ一人で執刀している。彼が公式に発表した2016年4月までの145人のうち、リンパ節転移および腫瘍が1cm以上だった人が8割で、手術しなくてよかったという人などほとんどいない。手術症例を見ると、組織外に広がっている子、リンパ節の頸部の方まで広がっている子もいる。遠隔転移の3名（男子2名、女子1名）は、検査の段階ですでに肺に転移していた。甲状腺がんはそもそも7:3ぐらいの割合で女性に多い病気だが、男の子に多いというのも問題になっている。あと急速に大きくなっていることも特徴。事故時10歳、手術時13歳という小さい子がすでに肺に転移している。

検査は2年ごとに7~8割の人が受けている。2巡目に甲状腺がんと言われた人たちは、前回はどうだったのか。前回A1、嚢胞も結節もないと言われていた人が46.3%。A2と言われていた人が44.9%。

B、問題があると言われていた人は 7%にすぎない。つまり 1 巡目で A 判定だった人が 91.3%。さらに問題なのは、2 巡目で腫瘍が見つかった子の中で、腫瘍が 3.56cm まで成長している子がいたこと。甲状腺は小さい臓器なので、3cm というとはほぼ全体を占める大きさ。2 年でここまで大きくなっているのは急成長といえる。

【臨床が不透明】

県民健康調査の研究計画書を調べてみたところ、がんになった子どもたちを対象にした研究が活発に行われていることがわかった。私が問題にしているのは、二次検査を受けた人の血液を集めて、3 億円をかけた大規模な組織バンクを作っていること。これをどう利用するかは明らかになっていない。手術した子どもたちの甲状腺がんの細胞、摘出したものもデータベース化、組織バンク化して長崎大学に運び、そこで DNA 解析などをして成果発表している。ネイチャーという有名な論文誌に長崎大学の先生を中心に DNA の異変を解析した結果の論文が出ていて、福島の子どもの遺伝子変異はチェルノブイリの子どものたちと違うと書いてある。報道では「違う」ということが強調されるが、論文を読んで心配なのは、日本の子どもたちに BRAF という遺伝子変異が多いが、BRAF の方が生命予後が悪いという論文がたくさんあることである。

【再発と遠隔転移の治療について】

日本では、そんなに酷くなければ甲状腺がんは半摘手術（半分残す）にすることが多いが、そうすると当然再発が起り得る。再発すると今度は全摘になり、その後アブレーション治療を受ける。アブレーション治療（予防的）とかアイソトープ治療というのは、甲状腺がヨウ素を取り込む機能を使って、わざと放射性ヨウ素を大量服用することにより甲状腺をがん細胞もろとも破壊するという治療。ヨード制限食を摂取し、体からヨウ素をすべて出してから、36 億ベクレルとかの放射性ヨウ素を服用して全部破壊する。肺転移すると、基本的にもうこれしか治療法はない。甲状腺がんは生命予後がいいというが、実際に 10 代や 20 代の子たちがこういう治療まで行くと、人生はかなり大変なことになって行くように思う。

【手術とアイソトープ治療】

首にはリンパ節がいっぱい通っていて、発声のための神経も隣接しているので見つかったら早めに手術した方がよいのだが、患者さんが増えていて、検査から手術までの時間が長い。仕方なく待っていると広がってしまう。首の脇の方のリンパ節まで転移してしまうと傷が大きくなってしまいうので辛い。

アイソトープ治療の施設について。福島医大の中に入ると、2 年前にできた福島国際科学医療センターという建物がある。その中の RI 病棟に日本最大のアイソトープ治療の病棟（10 床）がある。2017 年 8 月末までに 26 人がここで治療を受けた。

（治療施設の動画視聴）国内最大。放射線を遮蔽された部屋。最大で 1000 ミリキュリー、37 ギガベクレルまで使えるように設定されている。扉は鉛が入った重いもの。テレビ電話のような面会システム。鉛のゴミ箱。

服用するものの線量がとても高く、医療従事者が被曝するのでこうした施設が必要になる。だが実は 2010 年から、アブレーションという 30 ミリキュリー程度の治療は外来でできるようになった。そうすると、100 マイクロシーベルトぐらいに下がると患者さんは外に出てくる。その人が自宅に帰れば当然トイレからもかなり線量の高いものが排出されるが、大丈夫ということになっている。施設が足りず間に合わないから。

ここに入院したある子は、治療の副作用で気分が悪くなってしまったが、どんなに吐いていても看護師は絶対に入ってこない。自分一人で耐えるしかなく過酷だったので、もう 2 度と受けたくないという。

【患者の実態】

2016 年 7 月に、3.11 甲状腺がん子ども基金という団体ができ、甲状腺がんの子どもたちにお見舞金を支給している。福島県外の子どもたちにも支給しているが、療養費給付のデータを見ると、福島県外の子に重症例が多い。なぜかという自覚症状が出てから検査を受けるから。アイソトープ治療を受けている子は県外の方が多い。その子たちに悩みを聞くと、将来のこと、経済的なこと、周りの人に話せない（差別されるかもしれない）等。いろいろな問題をかかえ、進路を変更したり断念したりしている。

【原発事故後のリスク】

事故後リスク自体は増えたと言わざるを得ない。甲状腺がんは確かに予後はよいが、30 年、40 年経ってからの再発は多い。あと未分化がんという恐ろしいがんがあって、お年寄りしかならないと言われていたのに、2012 年に日本で初めて埼玉県の 18 歳の女の子が未分化がんて亡くなった。全世界にほとんど症例がなく、チェルノブイリで事故の後に出ていた。そういう珍しい症例が実際に起きている。事故初期に何もしなかった国なので、自分たちの中で意識をもって子どもたちを守るように、共に取り組みができればと思います。（文責：石井暁子）

「食品に関するリスクコミュニケーション（食品中の放射性物質をめぐる震災からの歩み）」

—これまでを知り、明日の消費行動を考える—に参加して

ハカルワカル広場共同代表 西田照子

2018年11月12日、主婦会館プラザエフで開催された、表題のシンポジウムに消費者代表として登壇した。このリスクコミュニケーションという会議は、消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省が、福島原発事故の2か月後から全国で頻繁に主催してきたものである。今回も、消費者庁の冒頭の情報提供として、「一部の栽培/飼養管理が困難な品目を除き、放射性物質の濃度の低減傾向は続き、基準値を超過する食品はごくまれという状況の正確な認識が必要。」と報告され、また検査を縮小していくべきとの考えからか、費用は誰が負担するのかという観点が強調された。

前半は福島県立医大病院の佐藤久志講師による基調講演。概略は、「自然界にも自然放射能（宇宙線など）があり、人間は放射線に囲まれて生きている。原発事故による低線量被ばくはそれほど気にする必要はない。発がんの原因は放射線だけではなく、他の環境要因の方が高い。」

これに続く福島県の農業の方は、「事故を恨んでいる人はいるだろうが仕事をくれた東電を恨んでいるかは微妙。」と述べ、「事故の後、筍から1500Bq/kg、椎茸から数百ベクレル出たが食べた。でも病気になっていない。」との発言もあった。また農水省からは、きのこの原木を始め様々な放射性物質の移行低減対策の結果、放射能濃度の低減が達成されているとの報告があった。

後半は、この方たちに交じってのパネルディスカッション。筆者は「自然界には放射線があるが、事故で受けた被ばくはあくまで追加被ばくであり（事故が無ければ受けなくて済んだもの）、私たちが測定しているのはセシウム137と134で、これは原子炉の中でできた人工放射能である（これらの体内での挙動はまだ不明である）。そして次の3点を要望した。

1. 不検出が続いても検査は続けて欲しい。測って不検出だからこそ安心して食べられる。国の基準100Bq/kgは高い。検査は生産者の放射能濃度を低減しようという努力も促す。
2. 水産物は市民測定所では測定が難しく、汚染水が放出されている現状では国の調査が重要。トリチウムやストロンチウムも測定して欲しい。
3. 原発の再稼働が次々となされている現状では、いつまた事故があるかわからない。検査体制の再構築は難しいので、検査の続行が必要である。

【注：このリスコミについては議事録が消費者庁のHPに掲載されている → 以下のサイトで】

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/risk_commu_2018_001/pdf/risk_commu_2018_001_190122_0001.pdf

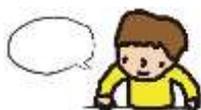
自然界のこと、考えていなかったこと
当たり前かと思っていたこと、気づかなかったことが沢山あります。二宮さんのハカってワカった話・鶏糞からホットスポットにいる鶏の生態を考えます。野草から？砂から？果たして??
(カタリナ ビット。)



つぶやき

原発は存在する限り処分できない放射性の廃棄物を出し続け命を蝕むもの。福島原発事故後危険な除染土はどこへ？多くのメディアはオリンピックをめぐる話題ばかり。本当に必要な情報が消されていないか私達の意識のもち方が問われている様に思います。
(老婆・脱原発半世紀)

葉っぱは何でも知っている
あの日空から降ったのも
かわいい若葉のつぼらな
その芽に宿る放射能
あの日からの大きな不安
いつまで続くのか、数十、数百年
(放射能を知らせることを怠ってはいけない)



八王子市内上空を、横田基地に配備されたオスプレイがふらふら。特に離着陸時を見るに墜落のイメージしか想像できない。日米地位協定と言う押しつけにより、万が一国内に墜落しても日本政府はダンマリだろう。啞然。
(びあんか)

つぶやきの投稿をありがとうございます！
まだの方も前回会報に同封したハガキをぜひご投函ください。お待ちしております！

測定結果 (2018 年 11 月～2019 年 1 月)

ゼオライトの測定値は初期値引き算前 (Cs134 の初期値は 30Bq/kg 程度)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量(g)	測定容器(cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	備考
雑木林の腐葉土	2018. 11	長野県	軽井沢	146	1000	3310.0	660.0	339.0	73.0	
苔	2019. 1. 28	東京都	八王子市	115	1000	2250.0	450.0	242.0	57.0	
落葉と土	2019. 1. 7	東京都	八王子市北野台	376	1000	813.0	163.0	101.0	23.0	
ゼオライト	2018. 11. 2	東京都	八王子市元本郷	942	1000	639.0	128.0	99.9	20.0	元本郷町 A-1
ゼオライト	2018. 12	東京都	八王子市小比企	1104	1000	428.0	86.0	71.7	14.6	小比企町 A
落葉	2019. 1. 7	東京都	八王子市北野台	89	1000	392.0	89.0	47.2	以下	
土	2019. 1. 28	東京都	八王子市	450	1000	362.0	72.0	42.5	10.7	
落葉と土	2019. 1. 27	東京都	八王子市北野台	271	1000	330.0	67.0	61.8	16.9	
雑草と土	2019. 1. 12	東京都	八王子市北野台	668	1000	328.0	66.0	68.4	15.0	
土	2019. 1. 12	東京都	八王子市北野台	1291	1000	224.0	45.0	39.2	8.5	
土	2019. 1. 28	東京都	八王子市	515	1000	217.0	43.0	31.3	8.4	
公園の土	2019. 1. 28	東京都	八王子市	843	1000	192.0	38.0	43.6	9.9	
ゼオライト	2018. 11	東京都	八王子市館町	1040	1000	190.0	38.0	56.3	11.9	館町 E
土	2018. 11	東京都	八王子	1503	1000	181.0	36.0	47.4	10.0	
土	2019. 1. 20	東京都	八王子市	742	1000	162.0	32.0	24.2	5.7	60分測定
掃除機のごみ	2018. 4～12	東京都	八王子市網ヶ丘	94	500M	137.0	35.0	59.6	19.9	60分測定
庭の土	2019. 1. 6	東京都	八王子市緑町	981	1000	111.0	22.0	20.8	4.8	60分測定
土	2019. 1. 22	東京都	八王子市中山	798	1000	101.0	20.0	17.5	5.0	
ゼオライト	2018. 11. 4	東京都	相模原市南区	1105	1000	98.5	20.0	44.6	9.7	相模原 A
土	2018. 11. 11	東京都	日野市豊田	1219	1000	97.4	19.5	33.8	7.6	
ゼオライト	2018. 12	東京都	八王子市東浅川	974	1000	85.7	17.9	39.9	9.0	東浅川 B
ゼオライト	2018. 11. 4	東京都	相模原市南区	967	1000	83.8	17.7	46.4	10.2	相模原 B
ゼオライト	2018. 11. 2	東京都	八王子市元本郷	938	1000	83.5	17.7	48.2	10.6	元本郷町 A-2
原木干し椎茸	2018. 11. 18	東京都	八王子産	105	1000	78.6	26.8	41.7	21.1	60分測定
ゼオライト	2018. 11. 2	東京都	八王子市川口町	971	1000	69.0	15.0	43.4	9.7	川口 A
落葉	2019. 1. 27	東京都	八王子市北野台	121	1000	67.4	29.4	37.9	23.2	
土	2018. 11. 11	東京都	日野市	1112	1000	62.7	13.2	20.2	5.0	
ゼオライト	2019. 1. 28	静岡県	御前崎市	906	1000	58.3	13.1	43.1	9.7	御前崎 A
土	2018. 11. 11	東京都	日野市	1205	1000	56.8	12.3	33.1	7.5	
庭の土	2018. 11	長野県	軽井沢	881	1000	56.4	12.2	14.2	4.2	
土	2018. 11. 7	東京都	町田市相原	707	1000	55.1	12.7	29.6	7.5	
ゼオライト	2018. 10. 16～12. 12	東京都	八王子市長房町	1025	1000	39.0	9.2	35.2	8.0	長房町 A
土	2018. 11. 7	東京都	町田市相原	987	1000	39.0	9.1	24.0	5.9	
ゼオライト	2019. 1. 28	静岡県	御前崎市	923	1000	34.3	8.6	38.4	8.8	御前崎 B
ゼオライト	2018. 12	東京都	八王子市小比企	1101	1000	33.4	8.0	30.7	7.0	小比企 B
ゼオライト	2018. 11. 2	東京都	八王子市川口町	1136	1000	33.3	8.0	32.5	7.4	川口 B2
マキの葉	2018. 11. 3	東京都	八王子市北野台	350	1000	32.2	9.5	25.6	7.8	剪定葉
ゼオライト	2018. 11	東京都	八王子市館町	932	1000	31.5	8.0	36.2	8.3	館町 C
ゼオライト	2018. 11	東京都	八王子市館町	796	1000	31.0	8.5	43.7	10.0	館町 F
ゼオライト	2018. 11. 2	東京都	八王子市川口町	1192	1000	30.8	7.5	32.4	7.3	川口 D
ゼオライト	2018. 11	東京都	八王子市館町	879	1000	27.2	7.4	33.9	8.0	館町 B
砂場の土	2018. 9	神奈川県	横浜市	881	1000	19.5	5.7	18.7	5.1	
カイズカイブキ	2018. 12. 9	東京都	八王子市北野台	280	1000	19.2	8.7	16.7	7.8	60分測定
ゼオライト	2018. 12. 15	東京都	八王子市寺町	1053	1000	16.0	5.4	38.9	8.7	寺町 A
菌床生椎茸	2018. 11. 24	福島県	いわき市	456	1000	15.6	5.5	6.5	以下	60分測定
ゼオライト	2018. 11. 5～12. 4	東京都	八王子市高尾町	1001	1000	14.6	5.1	31.3	7.3	高尾町 A
シソ	2018. 9	東京都	八王子市初沢町	339	1000	12.6	6.6	8.9	以下	60分測定
畑の土	2018. 9	神奈川県	横浜市	1206	1000	11.6	4.0	16.9	4.4	
ゼオライト	2018. 11. 5～12. 4	東京都	八王子市横川町	1013	1000	10.9	4.8	34.6	7.9	横川町 A
じゃがいも	2018. 11. 22	福島県	いわき市	550	1000	9.7	4.4	8.9	3.9	60分測定
原木生椎茸	2018. 12. 9	東京都	八王子市	597	1000	8.9	4.6	6.5	以下	60分測定
ゼオライト	2018. 11	東京都	八王子市館町	1067	1000	7.6	4.2	34.6	7.9	館町 D
月桂樹の葉	2018. 12. 15	東京都	八王子市北野台	522	1000	6.9	3.9	5.6	以下	60分測定
原木椎茸	2019. 1. 22	東京都	八王子産	651	1000	6.7	3.2	4.4	以下	60分測定
猪の肉	2018. 10	神奈川県	中井町丹沢	481	500M	6.6	3.3	4.4	以下	60分測定
柿	2018. 11. 22	福島県	いわき市	778	1000	5.8	2.7	3.7	以下	60分測定
土	2018. 11	東京都	八王子	1518	1000	5.0	2.3	4.3	2.0	
ゆず	2018. 11. 22	福島県	いわき市	879	1000	4.2	2.2	3.3	以下	60分測定



ハカってワかった話

二宮 志郎

2018 年末までの測定結果まとめから

測定年	測定 検体数	1ヶ月 あたり 検体数	土			きのこ類			きのこ除く食品		
			検体数	Cs137 検出率 (%)	Cs137 検出値 平均 (Bq/kg)	検体数	Cs137 検出率 (%)	Cs137 検出値 平均 (Bq/kg)	検体数	Cs137 検出率 (%)	Cs137 検出値 平均 (Bq/kg)
2012	1280	116	264	92.0	288.1	69	65.2	89.6	778	13.6	34.2
2013	927	77	246	91.1	315.2	75	78.7	58.7	490	12.7	30.3
2014	446	37	122	89.3	95.0	32	62.5	74.8	193	9.8	29.0
2015	415	35	87	90.8	101.5	29	58.6	36.4	164	4.3	14.5
2016	324	27	50	92.0	116.6	37	54.1	114.4	116	7.8	22.5
2017	318	27	60	93.3	173.4	32	65.6	59.9	77	2.6	7.1
2018	274	23	61	95.1	184.4	17	70.6	22.9	56	7.1	9.3

2015 年から、1000Bq/kg 以上の土は、Cs137 検出平均値を計算する時に除外した。

上記表が、2012 年に測定を開始してから 2018 年末までの全測定結果のまとめです。2018 年、一ヶ月あたりの検体数はさらに落ち込みましたが、それでも一ヶ月に 20 を越える測定を維持できたのは、ゼオライトの測定などを通して意識的に身の回りの放射能を監視しようと思って行動する人が少なからずいてくれるおかげでした。

「きのこを除く食品」に関しては、2017 年、18 年を通して「ほぼ不検出で、小さな検出率で僅かな検出値が出る」ということで定着した感じです。

「土」に関しては、ほとんど変化はない感じです。「きのこ類」に関しては、2018 年は平均検出値がかなり低めに出了ましたが、過去の変動の範囲から見ても、たまたまという要素が強いでしょう。

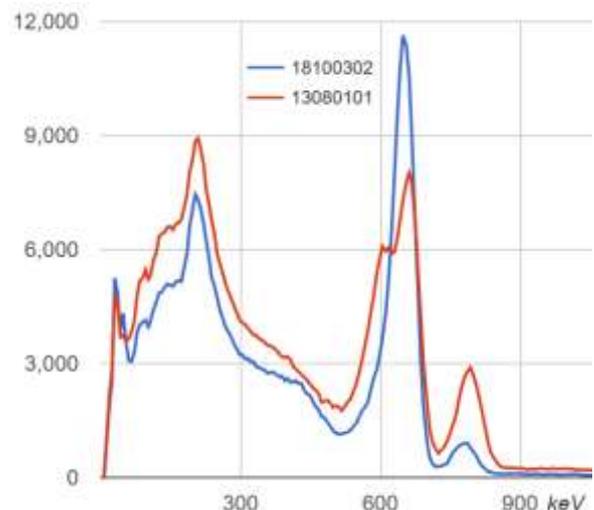
筍からの検出がゼロに

筍の測定では、2012 年は14件の検出があり、筍汚染の深刻さを感じたのですが、翌年にはかなり減り、その後毎年数検体の検出がある状況が続いていました。ようやく 2018 年に、筍の測定で検出されたものはなくなりました。測定依頼そのものが減ってきており、2018 年は5検体測定中のゼロですから、この事実だけをもって筍に関して検出可能レベルでの汚染がなくなったようには言えません。それでも「やっとここへ来た」という感じはあります。汚染は一瞬の様な短い時間で起こり、それが見えなくなるのはとても長い時間がかかるというのを身を以って体験した感じがします。

八王子の最高検出値

身近なところに高いレベルの汚染は残っているもので、八王子市内からの検体で 2018 年の最高値は、ハカルワカル広場の窓の下で、建物の玄関ひさしの上にあたる部分にあるコケ混じりの土で、Cs137、Cs134 が合わせて 4124Bq/kg でした。そこが高いことは前からわかっているのですが、わざわざ窓から出てひさしの上に行くことはしないので、「さわらぬ神にたたりなし」とばかりに何もしないで放置しています。

同じ場所を 2013 年 8 月に測った結果は 3780Bq/kg でしたから、なんと増えています。スペクトルも見てください。



Cs134 のピーク 796keV のところは赤線が上、一方 Cs137 の 662keV のところは青線が上なのがわかります。濃縮するところでは、濃縮は起こり続けている、そういうことを物語っています。

ハカルワカル広場公演会 朗読劇「線量計が鳴る」の報告

2018年12月2日、待ちに待った中村敦夫さんの朗読劇「線量計が鳴る」のハカルワカル公演。満員の聴衆は静まり返り、中村さんの朗読劇に聴き入った。中村さんの演じる老年の元原発労働者は自分の生涯を振り返り独白する—「福島第一原発で原発技術者として働き、定期検査に通るために、偽の模型まで作って会社に仕えた。あまりの得ためさを保安院に告発したらクビになった。そして、原発事故ですべてを失った。」背後のスクリーンには、原発の歴史が報道記事と共に映し出される。時として、軽いジョークも交えながら、淡々と福島弁で語られる独白。2時間の語りが長く感じられず、魅了された時間であった。

原発事故の原因や、その悲惨さを余すことなく伝えるこの朗読劇は中村さんのライフワークであろう。公演終了後、舞台挨拶に登場された中村さんは「この朗読劇を一人でやって、疲れるでしょう？と心配されるが、怒りを外に出すようになって、かえって元気になった。皆さんも大いに不正に対して怒って元気になってください。」とジョークを交えて話して下さった。78歳の中村敦夫さんを奮い立たせているこの原発事故の悲惨さ、誰も責任を取らない不条理。そして今なお苦しむ多くの被災者。中村さんと共に「決してフクシマを忘れない！」と心に誓った公演であった。（西田照子）

中村敦夫朗読劇「線量計が鳴る」アンケート結果

1) 今回の公演会はいかがでしたか。

とても良かった：83 まあまあ：3 たいしたことはなかった：0

2) アンケート・コメント抜粋

*彼の熱い情熱、本当に心に響きました。 *いろいろな難しい問題をとってもわかり易く語って下さりましてありがとうございました。ズバツと問題点を指摘する姿に清々しさを感じます。 *とてもすばらしかった。“怒る”力強さに勇気をいただいた。 *あきらめずに私も怒りをエネルギーに変えて生きたいです。 *何が正しいのか自分で判断する大切さを改めて考えさせられました。 *詳細な調査結果に裏打ちされたお話に改めて原発の危険と政治との癒着を認識しました。 *中村さんの想いと情熱がほとばしる素晴らしい朗読劇でした。理論的で説明的な内容でありながら、中村さんの味のあるユーモラスな語り口のため全く飽きることなくあっという間の2時間でした。 *知らないということは罪！ 知ったら怒って行動に表す！ *紋次郎が原発を語る！！と大変興味をもって来ました。一人語り、具体的であり、

うったえる力はさすが。映像を見ている様でもある。 *福島弁で語り、臨場感にあふれていた。また公にされていない事実を沢山取り入れ、政府や東電が事実を伝えていないことがよくわかった。語り口や構成がとても良く、聴き手を引きつけてくれた。時折聴衆に呼び掛けたり、笑いをさそったり、さすがだなと思った。 *練りに練られた台本。様々な要素が盛り込まれ息もつかせぬ内容でした。 *いかに私がマスコミにだまされ、真実を知らなかったのか思い知った。 *素晴らしい朗読でした。次に近くで公演される時は息子と相方を引っ張ってでも聞かせてあげたいです。 *わかりやすいです。あまり原発のことを知らない人にもぜひ聴いてもらいたい。 *福島原発事故は終わっていないし、これからも苦しみが続いていくことを認識しました。



2018年の活動報告

「わたしの、終わらない旅」の上映会と ICAN の「核兵器禁止条約」についての講演で始まったハカルワカル広場の 2018 年。6 月の福島視察ツアーで焼却施設の現状に驚き、憤り、映画「原発の町を追われて」に登場する人たちの本音に耳を傾け、そして、11 月安定ヨウ素剤配布会を実現し、12 月中村敦夫さんの朗読劇「線量計が鳴る」で「福島を忘れない」と再度心に誓った。子どもたちを放射能から守りたいと全力で駆け抜けた一年でした！



0203 総会



0303 核をさまざまに考える



0407 浜岡原発の地元で声を上げて (伊藤実さん)



0616 福島ツアー



0617 福島ツアー



シジュウカラの巣

ハカルワカル広場 ハイライト 2018



ハカってワかった話 (26号より)

ハカルワカル広場 配布会

八王子で安定ヨウ素剤の配布会を行います。

日時 2018年11月10日(土) 13:00 14:30の2回

会場 八王子市民放射能測定室 **ハカルワカル広場** 講師: 山田真医師

内容

- 対象者: 放射能汚染にごびである方 40歳未満
- 配布は無料です。PC2004・C30007ご主人様にお申し込み下さい。
- 県民、医師による説明 (約30分) と質疑応答を行います。
- 講師: 山田真氏 (小児科医) 心療内科医

お申込み ● 申込期間: 09/4日(水)~10/9日(水) (申込に遅くとも開始の前日)



1110 安定ヨウ素剤配布会



1006 原発の町を追われて 堀切さとみ監督と





測定室からのご報告とお知らせ

2月

*12月2日(日) ハカルワカル公演会「線量計が鳴る」

中村敦夫さんの朗読劇「線量計が鳴る」の公演。11月にNHKのEテレで「反骨・中村敦夫の福島」が放映され、この朗読劇にかける中村さんの生き方が紹介されたため、予約が殺到し、満員でお断りを出す盛況となった。それで公演当日の混雑にどう対処するか頭を悩ませていたが、さほどの混乱もトラブルもなくスムーズに入場してもらえた。観客の皆さんとスタッフ&ボランティアのコラボがあってこそ！ 満員の盛況、そして中村敦夫さんの「原発事故の真相を伝えたい」の熱い思いに心からの感謝をささげます。詳しくはP.6をご覧ください。(入場者約250名)

*1月12日(土)「福島の子どもの甲状腺がんについて」講師 OurPlanetTVの白石草さん

福島の子どもの甲状腺がんについて精力的に取材をされている白石草さん。その語り口も無駄なく、言葉がよどみなく発せられる。公表されている患者数よりも多いことが判明していること、また、放射線治療が隔離された部屋で行われるため、年少の患者には肉体的にも精神的にも過酷を極めることなど具体例をあげて話された。私たちの胸に迫って来たのは、個々の患者の苦しみだった。白石さんは講演後、「一人ひとりの患者の相談に乗っているからこの取材ができる」とぼつり。心にしみる一言だった。詳しくは巻頭の報告をご覧ください。(参加者31名)



*2月2日(土) 定例お茶会「ヒバクシャ地球一周証言の航海」に参加して 講師 上田紘治さん

八王子在住の被ばく者で、広く核廃絶の運動をされている上田紘治さんを講師にお迎えしてのお茶会。昨年106日間ピースボートに乗船され、世界各国で「核兵器禁止条約」への署名、批准を訴え、またヒバクシャ国際署名を集められた。最も衝撃的だったのはシアトル郊外のハンフォードでプルトニウム製造の原子炉を訪問したときのこと。そこで、上田さんは原爆投下の目的は人体実験だったと確信されたという。現在はまだ19ヵ国だが核兵器禁止条約が50ヵ国以上の批准を得られれば、国際法となり、原爆は使用も保持も不可能となると明るい表情で語られた。今回のピースボートの旅で中南米が平和への意識が最も高かったと愉快的エピソードも交えて語られ、明るい気持ちで勇気をいただいた2時間でした。上田さん、ありがとうございました！(参加者21名)



これからの予定

- *3月2日(土) 定例お茶会 「ウランウムから見える「核問題」—ヒロシマからフクシマへ」
講師：恵泉女学園大学 上村英明教授
- *4月6日(土) 定例お茶会 「微量放射線被曝・1msvをめぐって」二宮志郎さん
- *5月11日(土) 定例お茶会 テーマは未定
- *6月1日(土) 総会

おしらせ

～～原発事故損害賠償請求訴訟愛知岐阜～～

全国各地で原発事故損害賠償請求訴訟が争われています。先日名古屋に転居された会員の加藤木さんから「愛知岐阜での賠償請求訴訟に協力して、裁判所に『公正な判決を求める』はがきを出してほしい」とハカルワカル広場に依頼がありました。勿論、みんなで協力。生業も故郷も失った避難者の方の賠償を求める声に裁判所は誠実に応えてほしいと要請しました。愛知岐阜の皆さん、八王子からエールを送ります！

ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。



八王子市民放射能測定室

ハカルワカル広場

お電話 192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F
問合せ **042-686-0820**

HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com

【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

ボランティア、維持会員募集中!

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-280904(八王子市民放射能測定室)、
他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)